

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価
			できて	ほぼ	できて	できて		
			いる	ている	いない	いない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				『-共に歩む- 希望におきて感謝に眠る一日の幸せを応援いたします。』を理念に掲げ、心を温める‘言葉’、‘笑顔’を大切に利用者本位のケア実践を目指しております。	忠実に対応しているスタッフの姿がみられる。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所内研修などで理解を深められている。スタッフ間での認識の共有に努めている。	
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			年間計画に沿って施設内研修を開催している。外部研修に参加している。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			各月シフトを作成し周知している。新職員は同行訪問し、指導、育成している。ご利用者やご家族から直接受けた要望、疑問点について対応に迷った場合は、一旦、管理者に確認した上で提供し、サービス品質向上に努めている。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			定期巡回・随時対応業務支援システム“スマケア”（以下スマケアと表記）を活用し、日々の体調変化や往診による定期健診の状況を情報共有している。また、看護アセスメント訪問時や、担当者会議、アセスメント訪問時に情報共有を行っている。	月に1回の看護アセスメントからケアにつなげている。
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		○			勤務体系や特性を考慮したシフトの組み立てをするとともに、24時間随時対応可能なように、事業所職員全員が関わりを持てるよう工夫をしている。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			感染予防対策を講じながら実施している。	実施出来ている。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				スマケア上で情報共有している。	スマケアで情報収集することができ、訪問日以外の利用者状況が把握できる。

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価
			できて	ほぼ	できて	できて		
			いる	いる	いない	いない		
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	○				法人の交通事故発生時対応マニュアルを車に常備している。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報保護規定に基づき、適切に管理している。	個人情報の取り扱いに配慮し、ご家族との相談事項など報告を頂いている。
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			日々の訪問により収集した情報をもとに、支援のタイミングなどを考慮している。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護アセスメントを共有しケアを行っている。	共有することができる。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			ケアプランに沿い、自立支援に配慮したサービスを心掛けている。	個別性に合わせたサービスができる。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			看護アセスメントによる、健康上のポイントを踏まえ、体調確認しながら、サービスにあたっている。	看護アセスメントからケアにつなげている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			体調の変化のある時や、受診後等、訪問時間や回数を調整している。	実施出来ている。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			日々の状態観察とその報告をケアマネージャー等と共有し、状況の変化に沿った対応できるよう心掛け、ケアプランに反映いただいている。	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			看護アセスメントを通じ体調確認のポイントを参考にケア対応している。また、スマケア等で利用者の体調やスケジュールを共有し、看護アセスメントが円滑に実施できるよう心掛けている。	体調を考慮した関わりができる。

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価
			できていない	できている	ほとんどできていない	ほとんどできている		
			自己評価					
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			毎月の看護アセスメントで助言をもらい、ケアに反映している。	ケアに反映している。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			契約、更新時に本人・家族に説明を行っている。	実施出来ている。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			介護計画書を交付し説明している。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			ケアマネジャーを介したり、直接報告し対応している。	利用者の状況の変化や要望などその都度報告をもらい、相談のうえ対応出来ている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				日々の状況等こまめに報告している。また、意向や要望を関係者で共有している。	訪問時、気になることは直接共有している。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			インフォーマルサービスについて知識を深めている。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			サービス担当者会議等で日々の状況を多職種へ報告している。	実施出来ている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）		○			サービス担当者会議にて検討している。	サービス担当者会議で検討することができる。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			退院時に看護サマリーを元にて情報共有を行っている。	実施出来ている。

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価
			できていない	ほぼできていない	できていない	できていない		
			できている	ほぼできている	できている	できている		
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			地域包括、ケアマネージャー、行政担当者を中心に情報共有している。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		ホームページ等で掲載できるよう進めている。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			ケアマネ連絡会等で事業説明を行っている。	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		研修会等への参加お検討している。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				地域在宅へ提供している。今後とも、地域在宅のご利用者を多く支えられるようサービス提供体制を整えていきたい。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○		運営やサービス提供が中心になっており、提案には至っていない。	
III 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			サービス導入により、在宅生活が安定している。本人の意向を尊重し過剰支援にならないよう支援している。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			24時間つながるコール端末や訪問による安否確認により安心感を得てもらっている。	安定的な服薬管理が出来ており、安心した自宅生活が送れている。